

国語の主張発表会②

人をもっと好きになろう

3年D組

皆さん、皆さんに嫌いな人はいますか。「嫌いな人が一人でもこの世にいるよ」という人は恥ずかしがらずに手を上げてみてください。今わかったように大半の人が誰か一人は嫌いな人がいるということが分かります。私も昔はちょっと嫌いだなっていう人が多かったです。しかし、今、私には嫌いな人がいません。それは、嫌いな人でも嫌いなポイントを見るのではなく、尊敬できる点を探せばもっと毎日を楽しく過ごせると分かったからです。皆さんにも、このメリットを知って、日々を楽しく過ごしてもらえたらと思っています。皆さん、この人を知っていますか。そうです。この人はアメリカの今の大統領のドナルド・トランプ大統領ですね。私は去年、主張発表した時、この人のことが本当に嫌いでした。しかし、そのため私もその人がライバルだという無謀な発言をしたりもしていました。友達から「トランプ大統領にも尊敬できる点があるんだよね」と聞いたのでその人の尊敬できるところを探してみることにしました。すると、例えば話が上手いところ、人を惹きつける力があるところ、仕事をきちんと公約通りに進めるところなどたくさん良いところがあるということが分かりました。そうすると毎日嫌な気持ちになっていたニュースがとても楽しく見るものになりました。このように嫌いな人の嫌いなポイントを探すのではなく、尊敬できる点を探した方が毎日を豊かに過ごせるのです。さて、皆さんの中には、この話を疑っている方がいると思いますが、この話には根拠もあります。皆さん、カラーバス効果を知っていますか？カラーバス効果とは一旦、気にし始めると全部が気になり出してそれが急に目に入るようになるという現象のことです。例えば今日のラッキーカラーは黄色とテレビで言われたら身の回りにあるたくさんの黄色が目に入るようになってきますよね。そのような現象をカラーバス効果と言います。つまり嫌いな人の嫌いなポイントを探すのではなく、尊敬できるポイントを探したらもっと尊敬できる点が見えてくるかもしれないのです。どんな人も尊敬

できるポイントはあります。尊敬できる点を探してもっと毎日を楽しく過ごしましょう。皆さん、普段人にどのように接していますか。身近な人の悪口をすぐ言ってしまっていないか。嫌いな人の嫌いなポイントを探すのではなく尊敬できるポイントを探すことで毎日をもっと豊かに過ごしませんか。

AI 教育の重要性

3年B組

みなさん、チャットGPTを使用したことがありますか？若者のおよそ7割が使用経験があり、半分は頻繁に使用しているほど、AIは私達にとって身近な存在となりました。確かに便利ですが、その分様々な危険性を抱えています。では、私達は、AIとどのように関われば良いのでしょうか？

学力の低下、これは第一に上がる危険性だと思います。実際に大学や高校ではレポートや課題にAIをそのまま写す例があり、学習の悪影響が懸念されています。確かにAIを使うことで、参考になる部分はありますが、自分自身の能力である思考力の成長が妨げられます。また、情報漏洩も危険性としてあがります。AIは、ネット上のデータだけでなく、ユーザーが入力したデータも学習していることは知っていますか？何気なく入力した個人情報や機密情報が他のユーザーに流出する可能性があるのです。実際に個人情報を共有したことがある若者は4分の1程度います。このことから、AIの仕組みについて知らない人が多数いることが分かります。

近年、AIを友達や恋人として扱う若者が急増していることも危険性なのではないでしょうか？実際に若者の3割以上が友人との会話以上にAIとの会話に満足しています。また、4人に1人が、AIが現実の恋愛関係を代替できる可能性があると答えていて、実際に恋愛関係を築いている人もいます。すべてに肯定的に、優しく寄り添うAIであるからこそ、現実社会で起こる衝突を避けるなどといった生活への支障や少子化につながる可能性を秘めているのです。このようにAIが身近になったからこそ生じる危険性があります。しかし、今の社会はAIと共に生きつつあるでしょう。そのため今後は「AIを使用しないべきだ」ではなく「AI知識やAIとの関わり方について学ぶべきだ」と主張しているのです。実際に若者の8割以上が「AI知識が不十分で自信がない」と答えていて、9割はAIについて学びたい、もっと知りたいと考えています。フィンランドやアメリカではAI教育が進んでいるものの、日本は導入率にばらつきがあります。AIを上手く使いこなせる人材を育てるために、日本はいち早くAI教育を進めるべきです。